

2023年度 決算概要

2024年5月9日

沖電気工業株式会社

- 2023年度 決算概要
- 2024年度 業績予想
- 2023年度の振り返りと今後に向けて

- 本日は、当社決算発表にご参加いただき誠にありがとうございます。
- ご説明の内容は、こちらの通りです。
- 順を追ってご説明いたします。

2023年度 通期決算の概要

- サプライチェーンによる生産影響からの回復及びエンタープライズソリューションの大型案件により、前年比大幅増収増益。

| (単位：億円) | 23年度 実績 | 22年度 実績 | 前年比 | 2/7 予想 | 予想比 |
|-----------------------|------------|------------|------|-----------|------|
| 売上高 | 4,219 | 3,691 | +528 | 4,250 | △31 |
| 営業利益 | 187 | 24 | +163 | 170 | +17 |
| 経常利益 | 183 | △3 | +186 | 155 | +28 |
| (親会社株主に帰属する) 当期純利益 | ※ 256 | △28 | +284 | 120 | +136 |
| USD平均レート (円) | 144.6 | 135.5 | 9.1 | 143.3 | 1.3 |
| EUR平均レート (円) | 156.8 | 141.0 | 15.8 | 155.3 | 1.5 |

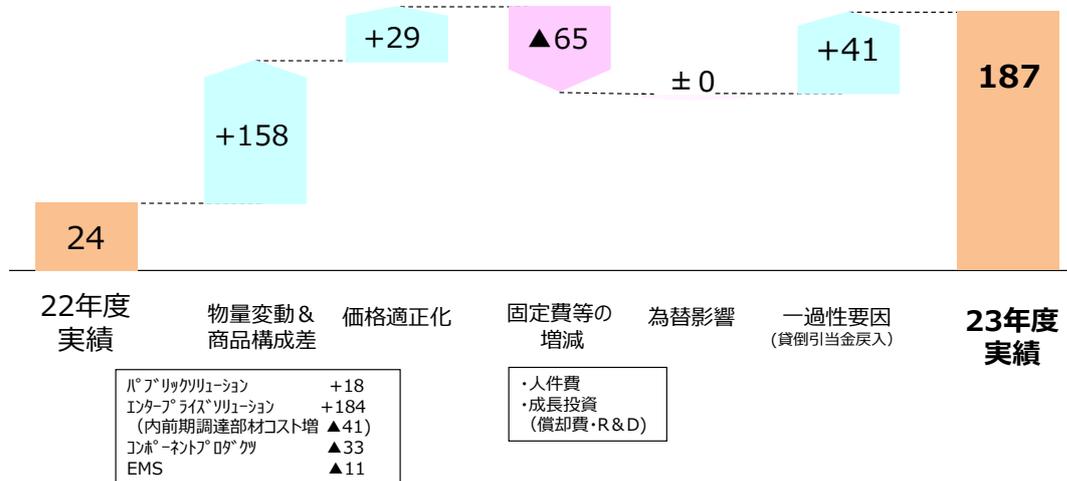
※当期純利益には、法人税等調整額110億円を含む

- まず初めに、23年度の決算概要です。
- 売上高4,219億円、営業利益187億円、経常利益183億円、当期純利益は256億円となりました。
- 大口需要の着実な獲得、そしてそれを支える生産能力の正常化により売上高は14%UPし、528億円の増収。営業利益は163億円の増益となりました。
- 経常利益は、為替影響により増加しました。
- 当期純利益は、税前利益の増加に加えて、法人税等調整額110億円の計上を行ったことにより、256億円となりました。
- 前回の予想比では、売上高はほぼ予想どおり、営業利益は、商品構成差や費用減により増加。
- 経常利益と当期純利益の増加は、先ほど述べた通りです。
- 尚、為替レートは、USD144.6円、EUR156.8円です。
- 23年度の配当は、期初の予想通り、1株あたり30円の予定です。

2023年度 営業利益の変動要因

- 大型案件の物量増および価格転嫁を着実に実施したことによる大幅増益。
- 人材投資、成長にむけた投資は着実に実施。

(単位：億円)



- 次に営業利益の変動要因についてご説明します。
- 22年度の営業利益24億円からの変動を示しております。
- 増収効果と商品構成差でプラス158億円。
- セグメント別に見ると、エンタープライズソリューションが売上増に伴い、大きく利益が増加しました。また、23年度に収益性の高い案件が集中したことも、予想以上に利益を押し上げた要因です。パブリックソリューションでも利益が増加している一方で、減収影響の大きいコンポーネントプロダクトは、前年比マイナスとなっています。
- そして、継続して進めております価格適正化の効果としてプラス29億円。
- 固定費については、人的投資・成長投資などで87億円増加しましたが、一方で22億円の費用削減を行い、ネットで65億円の増加となりました。

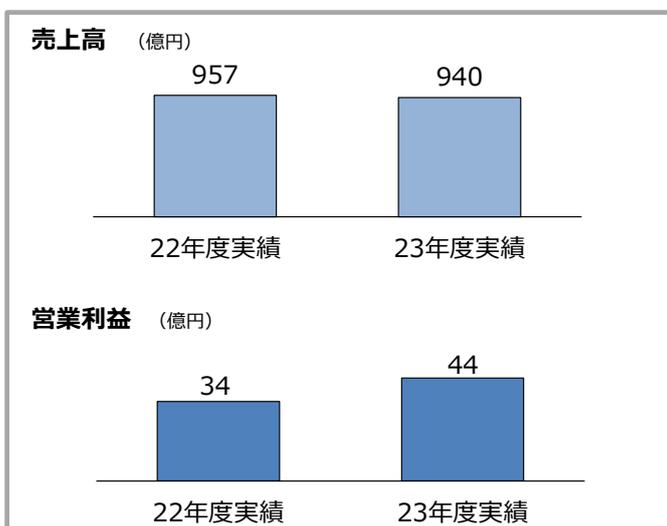
2023年度 通期セグメント別売上高/営業利益

| (単位：億円) | | 23年度 実績 | 22年度 実績 | 前年比 | 2/7 予想 | 予想比 |
|---------------------|------|------------|------------|------|-----------|-----|
| パブリック ソリューション | 売上高 | 940 | 957 | △17 | 950 | △10 |
| | 営業利益 | 44 | 34 | +10 | 35 | +9 |
| エンタープライズ ソリューション | 売上高 | 1,801 | 1,129 | +672 | 1,800 | +1 |
| | 営業利益 | 220 | 15 | +205 | 205 | +15 |
| コンポーネント プロダクツ | 売上高 | 734 | 846 | △112 | 750 | △16 |
| | 営業利益 | 6 | 16 | △10 | 5 | +1 |
| E M S | 売上高 | 739 | 753 | △14 | 750 | △11 |
| | 営業利益 | 11 | 23 | △12 | 15 | △4 |
| その他 | 売上高 | 4 | 5 | △1 | - | +4 |
| | 営業利益 | △11 | 4 | △15 | △15 | +4 |
| 消去・本社費 | 営業利益 | △83 | △68 | △15 | △75 | △8 |
| 連 結 合 計 | 売上高 | 4,219 | 3,691 | +528 | 4,250 | △31 |
| | 営業利益 | 187 | 24 | +163 | 170 | +17 |

- セグメント毎の売上高と営業利益です。
- パブリックソリューションは減収増益、エンタープライズソリューションは、大幅な増収増益となりました。
- コンポーネントプロダクツとEMSは、減収減益となっております。
- その他、消去・本社費では、将来事業創出に向けたR&Dなど、成長に不可欠な投資を行っております。
- 詳細は、次ページ以降でご説明いたします。

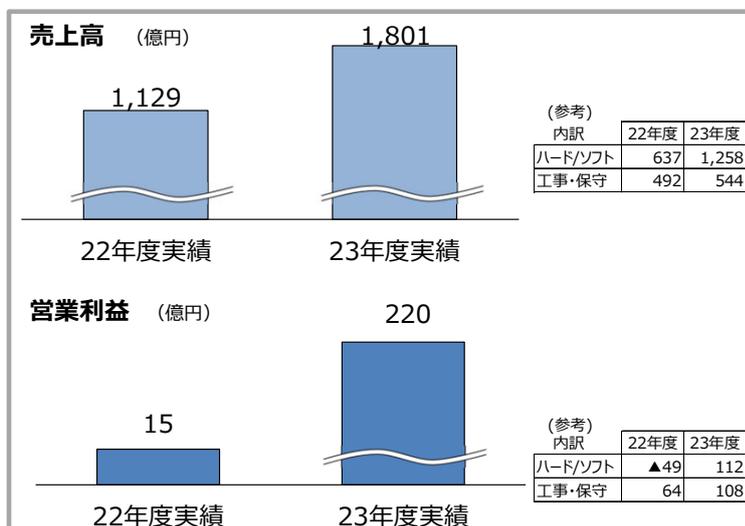
パブリックソリューション

- 道路、消防、防災及び特機は引き続き堅調。通信キャリア向け案件の減収はあるものの、セグメント全体では増益。



エンタープライズソリューション

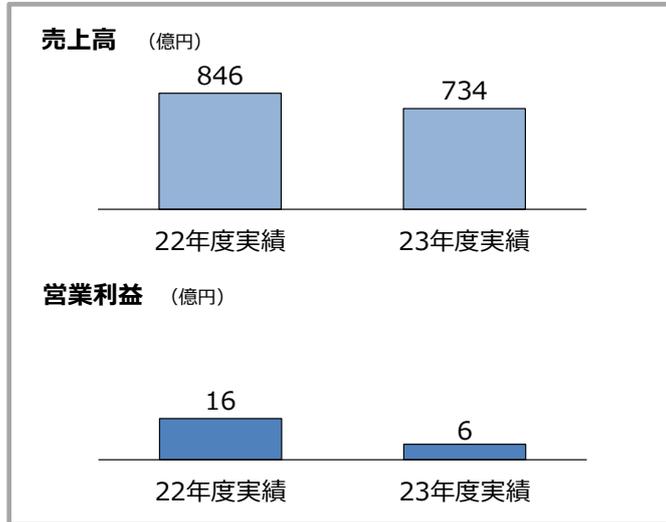
- サプライチェーン影響の改善、大型案件により大幅増収。ハード/ソフトの売上増に伴う利益増に加えて工事・保守の収益向上により増益。



- まずはパブリックソリューションです。
- 売上高は、前年比▲2%の940億円。減収要因は一部通信キャリア向け案件の減少です。その一方で、注力領域の消防・防災・道路、そして特機は堅調でした。特に特機事業が利益面を牽引し、増益となりました。
- 続いてエンタープライズソリューションです。
- 売上高は、前年度比60%UPの1,801億円。生産の正常化と増産体制を構築し、大口需要を取り込みました。またそれに付随し、工事・保守事業も予想以上に伸びました。
- 利益面では、増収効果に加えて、収益性の高い案件が23年度に集中したこと、更には、中国事案での貸し倒れ引当金の戻し入れ等が重なり、大幅増益となりました。

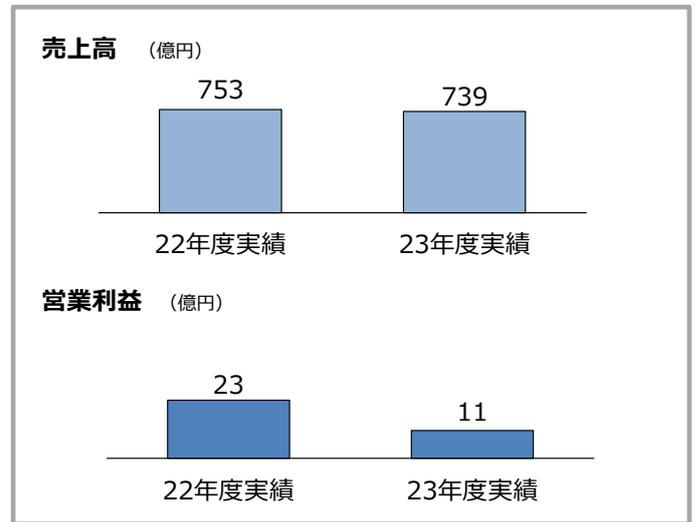
コンポーネントプロダクツ

- IoTはサプライチェーン影響の調達改善等によりプラス。プリンターは海外での需要停滞による減収影響大きく減益。



EMS

- 半導体市場や中国経済減速によるFA・ロボット市場での需要減による影響により減収減益。



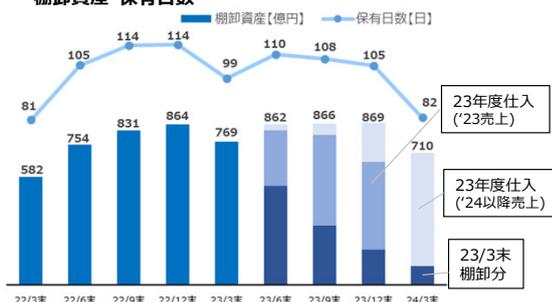
- 次にコンポーネントプロダクツです。
- 売上高は、前年度比▲13%の734億円。営業利益は、前年度比▲10億円の6億円と、厳しい状況でした。
- プリンター事業において、欧州での需要低迷や、前期駆込需要の反動が主要因です。
- 最後にEMSです。
- 売上高は、前年度比▲2%の739億円。営業利益は、前年度比▲12億円の11億円でした。
- 半導体市場と中国経済の低迷より、半導体製造装置用のプリント基板やFA・ロボット向けケーブルの需要が、予想以上に落ち込み、減収減益となりました。

2023年度 B/Sの概要

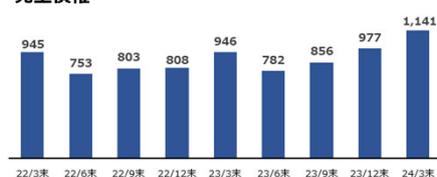
- 棚卸資産の前年度末の在庫は順調に減少。
- 自己資本比率は対前年7.9ポイント改善の33.3%

| (単位：億円) | 24年 3月 | 23年 3月 | 前年度末比 |
|-----------|-----------|-----------|-------|
| 流動資産 | 2,397 | 2,302 | +95 |
| 固定資産 | 1,837 | 1,602 | +235 |
| 資産の部 | 4,234 | 3,904 | +330 |
| 流動負債 | 1,884 | 2,053 | △169 |
| 固定負債 | 937 | 859 | +78 |
| 負債の部 | 2,821 | 2,911 | △90 |
| 自己資本 | 1,412 | 991 | +421 |
| その他 | 1 | 2 | △1 |
| 純資産 | 1,413 | 993 | +420 |
| 負債及び純資産合計 | 4,234 | 3,904 | +330 |
| 自己資本比率(%) | 33.3 | 25.4 | +7.9 |
| DEレシオ(倍) | 0.8 | 1.2 | △0.4 |

棚卸資産・保有日数



売上債権



政策保有株式

| | 23/3末 | 24/3末 |
|--------|-------|-------|
| 銘柄数 | 74 | 65 |
| 簿価(億円) | 312 | 410 |

参考23/3末簿価ベース

| | 24/3末 |
|--------|-------|
| 銘柄数 | 65 |
| 簿価(億円) | 296 |

- 次にバランスシートです。
- 総資産は前期末から330億円増加し、4,234億円。
- 主に売上増に伴う売上債権の増加と、株高による固定資産評価額の増加によるものです。
- 第3四半期決算同様に、右側に棚卸資産と売上債権のグラフを示しています。売上債権は第4四半期の売上増を受けて増加、棚卸資産は、昨年度末の在庫は順調に減少しており、今後の売上に向けた仕込を行っている状態です。運転資本については引き続き適正化を図っていきます。
- 政策保有株式の保有状況を右下に記載しております。縮減に向けた取り組みは継続しており、23年度では9銘柄の売却を行いました。
- 自己資本は421億円増加して1,412億円、自己資本比率は33.3%、DEレシオは0.8倍となっております。

2023年度 キャッシュフローの概要

- 営業キャッシュフローは利益改善により黒字化。
- フリー・キャッシュフロー良化に伴い借入金を返済。

| (単位：億円) | 23年度 実績 | 22年度 実績 | 前年比 |
|------------------------|------------|------------|------|
| I 営業キャッシュフロー | 247 | △31 | +278 |
| II 投資キャッシュフロー | △143 | △176 | +33 |
| フリー・キャッシュフロー(I + II) | 104 | △207 | +311 |
| III 財務キャッシュフロー | △157 | 233 | △390 |
| 現金および現金同等物の残高 | 344 | 375 | △31 |
| 固定資産取得額 | 170 | 165 | +5 |
| 減価償却費 | 142 | 123 | +19 |

- キャッシュフローです。
- 営業キャッシュフローは、利益改善により前年度比278億円増の247億円。
- 投資キャッシュフローは、中計方針に則り、成長に不可欠な投資を優先して進めております。
- フリーキャッシュフローは104億円のプラスとなり、借入金の削減を実施しました。
- 尚、現金同等物は344億円となり、必要な手元資金を確保しております。

2024年度 通期業績予想

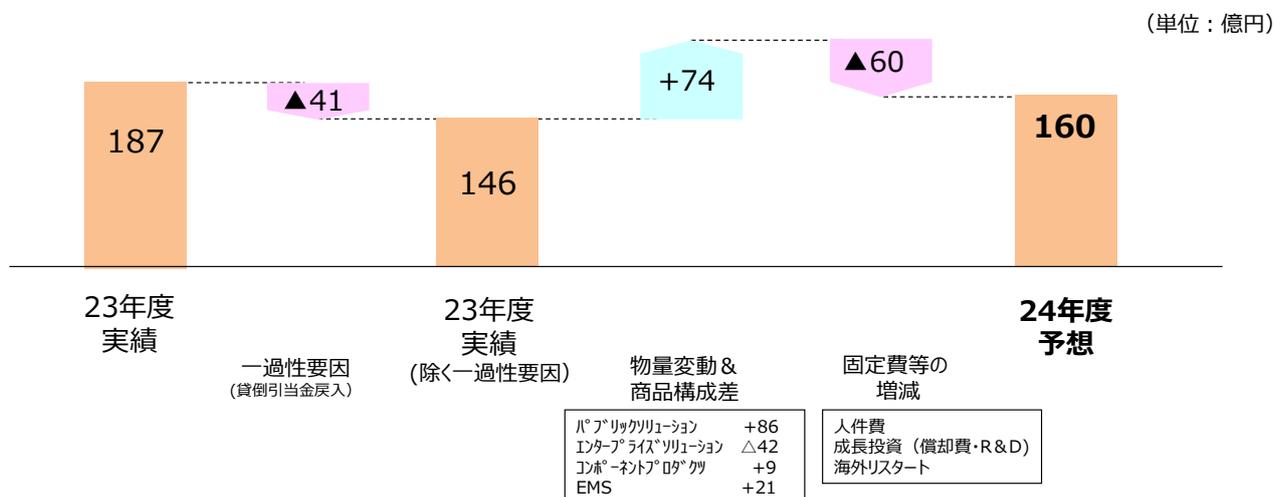
| (単位：億円) | | | 24年度予想 | 23年度実績 | 前年差 |
|-----------------|-------|--|--------|--------|------|
| パブリックソリューション | 売上高 | | 1,350 | 940 | +410 |
| | 営業利益 | | 105 | 44 | +61 |
| エンタープライズソリューション | 売上高 | | 1,700 | 1,801 | △101 |
| | 営業利益 | | 125 | 220 | △95 |
| コンポーネントプロダクツ | 売上高 | | 750 | 734 | +16 |
| | 営業利益 | | 15 | 6 | +9 |
| EMS | 売上高 | | 800 | 739 | +61 |
| | 営業利益 | | 25 | 11 | +14 |
| その他 | 売上高 | | 0 | 4 | △4 |
| | 営業利益 | | △18 | △11 | △7 |
| 消去・本社費 | 営業利益 | | △92 | △83 | △9 |
| 連結合計 | 売上高 | | 4,600 | 4,219 | +381 |
| | 営業利益 | | 160 | 187 | △27 |
| | 経常利益 | | 145 | 183 | △38 |
| | 当期純利益 | | 95 | 256 | △161 |
| 1株当たり配当金(円) | | | 30 | 30 | ±0 |

前提為替レート
USD：140円
EUR：150円

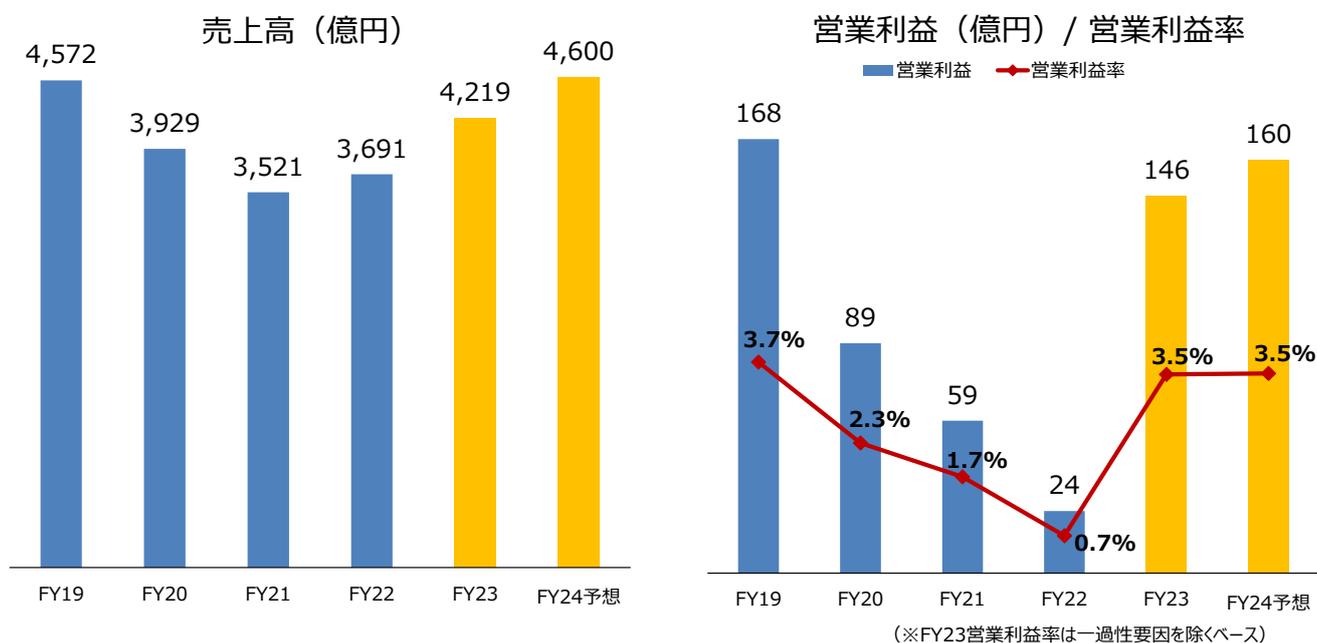
- 続きまして、24年度の業績予想です。
- 売上高4,600億円、営業利益160億円、当期利益95億円を見込んでいます。
- 利益面でやや見劣りしますが、昨年度の一過性要因を除くと実質的には増収増益となります。
- セグメント別にみますと、パブリックは、大幅増収増益の計画。昨年度の活動で仕込んだものが数字に表れてくる年となります。
- エンタープライズは、大型案件が前年に引き続き入っています。但し、利益面では、一過性も含む好要因が重なった昨年度からは減益となりますが、一定の利益水準は確保できる見込みです。
- コンポーネントプロダクツは、プリンターの海外市場の動向を反映し、ほぼ前年並みの計画としました。
- EMSは、年度後半からの市況回復を想定し、増収増益の計画としました。
- 年間配当の計画は、1株あたり30円です。
- 安定配当の継続を基本としつつ、長期的成長に不可欠な投資を行うこと、更にはキャッシュフローの状況などを総合的に判断しました。

2024年度 営業利益の変動要因

- パブリック物量増でプラス。
- 人材投資、成長にむけた投資は継続。



- 24年度の営業利益の変動要因です。
- 一過性要因を除く、23年度の実質営業利益の146億円からの推移です。
- パブリックセグメントの増収効果と積極的な成長投資をバランスし、営業利益を160億円としました。
- 以上が、23年度の決算概要と24年度の業績予想です。



- 最後にまとめとして、23年度の振り返りと今後について少しお話します。
- 改めて、ここ5年間の業績推移を整理しました。
- 中期経営計画で『成長への舵を切り、縮小均衡から脱却』を方針に1年目が終了しました。
- ようやく、業績低迷に歯止めをかけられましたが、この数値は最低限のレベルをクリアしたに過ぎません。
- もう一段高い次元での成長と利益の両立を図っていきます。

| | | |
|--------|-----------------|--|
| 成長事業 | パブリックソリューション | 消防・防災・道路、特機は案件を順調に確保 防衛力強化の方針に基づくニーズに着実に取り組み |
| | EMS | 半導体市場、FA・ロボット市場は悪化 市場の回復に確実に対応 |
| 安定化事業 | エンタープライズソリューション | 引き続き大型案件を確実に取り込み 将来に向けた筋肉質な経営体質への転換を推進 |
| | コンポーネントプロダクツ | 欧州市場は想定以上に悪化 OEM拡大と開発/生産体制の合理化を推進 |
| 将来事業創出 | CFB | Crystal Film Bonding (CFB) 事業の拡大戦略を推進 パワーデバイス市場への参入をはじめ、幅広い分野で着実に推進 |
| | 海外事業リスタート | グローバルのR&D拠点での活動推進 |

- そのような観点から、事業の現状を整理しました。
- 中期計画で括った 各事業区分、「成長」「安定化」「将来」の順でご説明します。
- まず、成長事業と位置付けたパブリックとEMSです。
 - パブリックは、消防・防災・道路の更改需要を中心に活動を強化し、今年度以降の中期的な成長を見込める状態になってきています。
 - それに加えて、防衛を含む特機事業では長期的な成長を目指した生産体制構築や技術力の強化投資を既に着手しております。
 - またEMSは、先ほど述べました通り、今年度後半の市況回復を見込み、基板やケーブルなどの部品事業の生産能力強化の設備投資を昨年から実行しています。これを梃に再び成長軌道に戻す予定です。
- そして、安定化事業と位置付けたエンタープライズとコンポーネントです
 - エンタープライズは、前年度と同等の物量が確保できています。
 - 自動機の新商品投入や大型案件もあり、繁忙さは今年度以降も続く予定です。
 - まずはこの需要をしっかりとキャッチしながら、同時に事業構造改革に着手し、事業安定化を進めていきます。
 - コンポーネントプロダクツは、欧州市場のプリンタービジネスの落ち込みが想定以上であるため、構造改革を早めます。OEM拡大を図ると同時に、開発生産体制の合理化を加速していきます。

- そして、将来事業創出に向けた取り組みです。
- 今日は、その中でCFBと海外活動について少し触れたいと思います。
- CFBは、昨年の夏に信越化学さんと発表したパワー半導体や光電デバイスなどの半導体応用分野で、そして更には、スマートグラス等のディスプレイ応用分野など、技術開発を強化しながら、事業化を推進しています。

担当部門の組織強化も行っており、当社のコア事業に育成すべく投資強化中です。

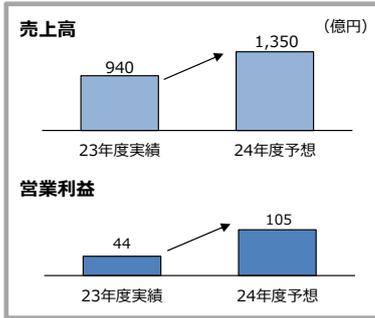
- 海外事業については、現在、プリンターとATM以外に規模感をもってビジネスできるものではありません。しかし、当社の長期的な成長には、海外事業は不可欠と考え、新規の海外活動を活性化し始めました。
 - 一例をあげますと、まずは活動の足掛かりとして、海外の技術拠点の開設を行います。小さな1歩ですが、これを起点に拠点数を増して、イノベーションを起こす環境整備を行っていきます。同時にこの活動を通じ、グローバル人材を数多く発掘育成していきます。
- 尚、各事業毎の詳しい戦略は、6月6日に予定しておりますIR Dayでご説明する予定です。
- 私からの説明は以上になります。ありがとうございました。

(補足) セグメント別売上高/営業利益 (四半期別推移)

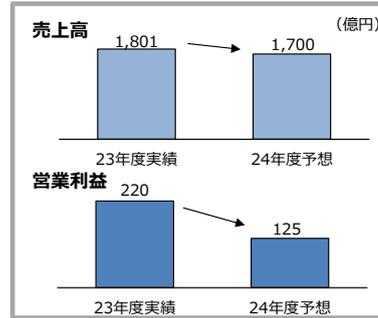
| (単位: 億円) | | 22年度 | | | | | 23年度 | | | | |
|---------------------|------|------------|------------|------------|--------------|--------------|------------|------------|--------------|--------------|--------------|
| | | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 年間 | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 年間 |
| パブリック ソリューション | 売上高 | 193 | 198 | 228 | 337 | 957 | 193 | 200 | 245 | 301 | 940 |
| | 営業利益 | △3 | △3 | 0 | 40 | 34 | △1 | △7 | 14 | 39 | 44 |
| エンタープライズ ソリューション | 売上高 | 233 | 245 | 297 | 354 | 1,129 | 274 | 365 | 515 | 647 | 1,801 |
| | 営業利益 | △16 | △11 | 1 | 41 | 15 | 19 | 20 | 66 | 114 | 220 |
| コンポーネント プロダクト | 売上高 | 192 | 218 | 214 | 223 | 846 | 170 | 179 | 185 | 200 | 734 |
| | 営業利益 | △1 | 16 | △1 | 2 | 16 | △8 | 13 | △8 | 9 | 6 |
| E M S | 売上高 | 162 | 185 | 198 | 209 | 753 | 177 | 188 | 171 | 203 | 739 |
| | 営業利益 | 1 | 4 | 9 | 9 | 23 | 6 | 3 | △1 | 3 | 11 |
| その他 | 売上高 | 1 | 1 | 2 | 1 | 5 | 1 | 1 | 1 | 1 | 4 |
| | 営業利益 | 1 | 1 | 1 | 1 | 4 | △1 | △3 | △3 | △4 | △11 |
| 消去・本社費 | 営業利益 | △12 | △17 | △18 | △22 | △68 | △14 | △15 | △22 | △32 | △83 |
| 連結合計 | 売上高 | 781 | 846 | 938 | 1,125 | 3,691 | 815 | 933 | 1,118 | 1,353 | 4,219 |
| | 営業利益 | △30 | △10 | △8 | 72 | 24 | 0 | 10 | 48 | 129 | 187 |

(補足) 事業概況

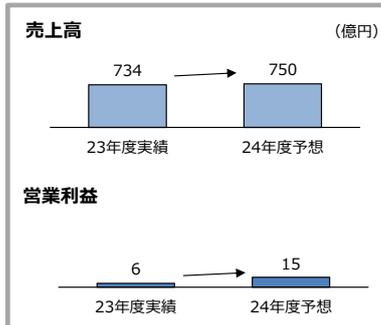
パブリックソリューション



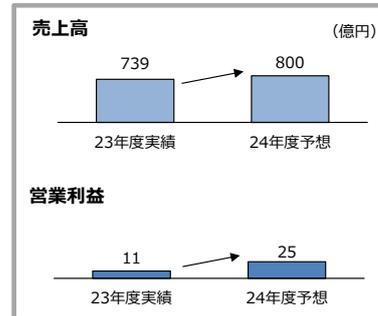
エンタープライズソリューション



コンポーネントプロダクト



EMS



(補足) 2024年度 投資およびキャッシュフロー

- 持続的成長のための必要投資は引き続き実施。

| 投資等 (単位：億円) | 24年度 予想 | 23年度 実績 | 前年差 |
|----------------|------------|------------|-----|
| 設備投資（有形＋無形） | 220 | 160 | +60 |
| 減価償却費（有形＋無形） | 160 | 132 | +28 |
| 研究開発投資 | 130 | 125 | +5 |

| キャッシュフロー (単位：億円) | 24年度 予想 | 23年度 実績 | 前年差 |
|---------------------|------------|------------|-----|
| I 営業キャッシュフロー | 280 | 247 | +33 |
| II 投資キャッシュフロー | △190 | △143 | △47 |
| フリー・キャッシュフロー（I＋II） | 90 | 104 | △14 |

(補足) 各セグメントの主な製品およびサービス

| | |
|---------------------|--|
| パブリック ソリューション | <ul style="list-style-type: none">• 道路 (ETC/VICS) 、航空管制、防災、消防• 中央官庁業務システム、政府統計システム• 防衛システム (水中音響/情報)• 航空機器• インフラモニタリング• キャリアネットワーク、映像配信、5G・ローカル5G |
| エンタープライズ ソリューション | <ul style="list-style-type: none">• ATM、現金処理機• 営業店端末、予約発券端末、チェックイン端末• ATM監視・運用サービス• 金融営業店システム、事務集中システム• 鉄道発券システム、空港チェックインシステム• 製造システム (ERP/IoT)• 工事・保守サービス |
| コンポーネント プロダクツ | <ul style="list-style-type: none">• AIエッジコンピューター、センサー、IoT NW• PBX、ビジネスホン、コンタクトセンター• クラウドサービス• LEDプリンター |
| EMS | <ul style="list-style-type: none">• 設計・生産受託サービス• プリント配線板 |

※本資料における業績予想および事業計画等は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断される一定の前提に基づいております。したがって、実際の業績は様々な要因により、これらと異なる可能性があることをご承知おきください。

※億円単位の数値の表示方法について：

各項目の数値は、それぞれの数値の億円未満を四捨五入して表示しています。
また増減については、億円単位の数値を元に計算しています。